

評価年度	令和2年度
目標に対する達成度	<p>採用に関する目標 (実雇用率) 2. 29%</p> <p>定着に関する目標 (令和2年度採用実績無し) (常勤・6か月定着率) — % (常勤・1年定着率) — %</p> <p>満足度に関する目標 「仕事内容」 満足・やや満足 14. 3% 「業務量」 満足・やや満足 28. 6%</p>
取組内容の実施状況	<p>障害者の活躍を推進する体制整備 (組織面) 障害者雇用推進者(人事秘書課長)、障害者職業生活相談員(人事秘書課課長補佐1名)選任。障害者職業生活相談員資格認定講習1名受講(人事秘書課主査) 組織外の関係機関(ハローワーク津島、支援機関)と連携体制を構築した。</p> <p>障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出 アンケートを実施し、点検を行った。今後は活躍ができる職務の選定、創出に向けて組織体制も含めてさらに検討を行う。</p> <p>障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理 (職務環境) 職員と所属長との人事面談において、必要な配慮等の把握に努める。また必要な措置は、新庁舎建設もあるため、過重な負担にならない範囲で適切に実施するように努める。 (募集・採用) 障害特性に配慮した試験を検討し、職務の選定、創出を行っていく。 (働き方) 誰もが活躍できる職場になるように、組織外の関係機関にも協力を求めて改善していく。</p>
「目標に対する達成度」及び「取組内容の実施状況」に対する点検結果	<p>実雇用率が法定雇用率を達成しなくなったため、継続して障がい者試験区分を設定して、達成に努める。</p> <p>また職員のアンケート結果では、仕事内容、業務量ともに「どちらでもない」が71. 4%となり、満足できていない現状が把握できたため、定着に向けて改善点を把握し実施していく。</p>
計画の見直し・修正	なし